



発行所
石岡市役所

石岡市大字石岡408番地
電話(代表) 2-4111番

昭和43年度予算成立

一般会計 7億8352万0000円
特別会計 2億0025万5000円

四十三年度予算案を中心に 二十五議案を審議

第1回例会
第1議案

昭和四十三年市議会第一回定例会は、三月十二日市議場に招集され、二十五日までの十四日間にわたって開かれました。
この議会には、ことしの市政を方向づける昭和四十三年度各会計予算など議案二十五件請願七件が上程され、全議案が原案どおり可決、請願七件も採択されました。

昭和四十三年度の石岡市の歳入歳出予算総額九億八千三百七十七万五千円が成立いたしました。

一般会計予算は、七億八千三百五十二万円となり、また特別会計予算は、二億二千五百五十五万円です。その内容は、有線放送電話事業六百三十万六千円、授産所七百七十七万九千円、国民健康保険一億六千三百三十三万三千円、と畜場二百四十万二千円、農業共済事業二千三百六十四万四千円となっております。

ことしの予算規模は、一般会計と特別会計を合わせると前年の当初予算に比較して、五百一十一万三千円の減となり特に一般会計においては、三千八百三十一万三千円の減少となっております。

これは、前年あった市民会館の建設という大事業が本年はなくなり、また、分譲住宅の建設については県住宅供給公社が行なうため、当市には事業費だけしか計上されていません。

審議された議案

- 市国民健康保険税条例の一部改正
- 市国民健康保険条例の全文改正
- 市印鑑条例の一部改正
- 市住民登録条例の廃止
- 市有線放送電話に関する条例の一部改正
- 市農業共済条例の一部改正
- 市非常勤消防団員に係る退職報償金支給条例の一部改正
- 市消防費じゅつ金条例の一部改正
- 市消防団条例の一部改正
- 市税条例の一部改正
- 市手数料条例の一部改正
- 四十三年度一般会計・特別会計(有線放送電話事業・授産所・国民健康保険・と畜場・農業共済事業)予算
- 市職員旅費に関する条例の一部改正
- 市特別職の給与及び旅費に関する条例の一部改正
- 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償に関する条例の一部改正
- 県民交通災害共済組合規約に関する協議
- 市民会館建築追加工事請負契約について
- 四十二年度市一般会計・特別会計(農業共済事業・国民健康保険)補正予算

昭和43年度石岡市一般会計歳入歳出予算

歳入			歳出		
款別	予算額(千円)	構成比(%)	款別	予算額(千円)	構成比(%)
1 市税	272,810	34.9	1 議会費	18,185	2.4
2 自交車取得税金	9,000	1.1	2 総務費	166,057	21.2
3 地方交付税	149,000	19.0	3 民生費	117,469	15.0
4 交通安付金	2,900	0.4	4 衛生費	36,282	4.6
5 交付金	7,819	1.0	5 労働費	2,310	0.3
6 交付金	18,916	2.4	6 農林業費	88,923	11.3
7 国庫支出金	91,789	11.7	7 商工費	5,176	0.7
8 県支支出金	58,019	7.4	8 土木費	114,543	14.6
9 財産収入	83,820	10.7	9 消防費	35,335	4.5
10 寄附入金	1,043	0.1	10 教育費	149,906	19.1
11 繰入金	3	0.0	11 災害復旧費	451	0.0
12 繰越金	1	0.0	12 公債費	45,883	5.9
13 諸取入	40,700	5.2	13 予備費	3,000	0.4
14 市債	47,700	6.1			
歳入合計	783,520	100.0	歳出合計	783,520	100.0

石小校舎(第一期)などが完成

市では、毎年教育施設の整備を行なっております。昨年度の主な事業として、石岡小学校改築第一期工事、府中小学校改築第二期工事、府中学校増築第二期工事でありましたが、いずれも昨年九月に着手し、本年三月に完成いたしました。

石岡小学校改築第一期工事は、鉄筋コンクリート造り三階建普通教室六などで、延面積一五六・一平方メートル、事業費二千八百八十二万七千円(一部は簡易生命保険積立金還元融資)となっております。



〔完成した石岡小学校新校舎〕

府中中学校増築第二期工事は、鉄筋コンクリート造り二階建特別教室三及び管理室などで延面積一五六・一平方メートル、事業費二千六百四十六万二千円(一部は簡易生命保険積立金還元融資)となっております。



新入児童・園児を交通事故から守りましょう

四月・五月は、冬の寒さから解放されて車と人の動きが一段と活発になり、例年交通事故が増加します。

新入児童にとっては、それまでの家庭中心保護者による常時保護の生活から離れて激しい交通事情の中を登校するうえに、慣れない学校生活での緊張や疲労などが加わって、最も交通事故にあいやすい危険な時期といえます。

登校下校時の事故をなくすために、新入児童を持つ家庭および自動車の運転者の方々は次の点に注意してください。

- ☆登校は、時間に十分余裕をもって送り出す一方、忘れ物のないようよく注意する。
- ☆横断歩道などがあるところは、必ずこれを利用させることはもちろん、道路を横断する際は、一旦止まって車が来ないか左右を見ること。あるいは車が止まったかを確かめるうえで、横断するよう習慣づける。
- ☆信号機の見方をよく教え、青信号になっても左右をよく見て、また、すでに青になっただけのときは、次の青信号を待って渡るよう習慣づける。
- ☆家庭に帰ってから、道路や路切の付近では、決して遊ばせないように聞かせ、時には実際に遊んでいる場所を確認する。
- ☆歩道のない道路では、歩行者の動きによく注意し、歩行者の通行に十分な余地を残すよう努める。
- ☆車を発進させたりバックさせたりするときは、車の前後左右に子どもがいなくても十分確かめる。

新入児童を持つ家庭へ

近々、青少年による犯罪が横行するおそれがあります。青少年センターには、学校・警察・その他の団体などから、市長が青少年相談員として補導されています。

青少年を健全に育成しよう

青少年センターを設置して五十名を委嘱し、相談員は、関係機関と連絡をとりながら青少年を健全な環境等の立入を監視し、非行の防止と社会環境の浄化をめざして、常時街頭補導などを実施いたします。また、青少年の相談も受け正しい指導をいたして、明るく、まじめに努めてまいりますので、市民のみならず、ご協力をお願いいたします。

青少年を健全に育成しよう

☆母と子で通学路を一緒に歩き、途中の危険箇所を教えるとともに、安全な通行方法を具体的に教えておく。

☆登校は、時間に十分余裕をもって送り出す一方、忘れ物のないようよく注意する。

☆横断歩道などがあるところは、必ずこれを利用させることはもちろん、道路を横断する際は、一旦止まって車が来ないか左右を見ること。あるいは車が止まったかを確かめるうえで、横断するよう習慣づける。

☆信号機の見方をよく教え、青信号になっても左右をよく見て、また、すでに青になっただけのときは、次の青信号を待って渡るよう習慣づける。

☆家庭に帰ってから、道路や路切の付近では、決して遊ばせないように聞かせ、時には実際に遊んでいる場所を確認する。

車の運転者の方へ

☆登校は、時間に十分余裕をもって送り出す一方、忘れ物のないようよく注意する。

☆横断歩道などがあるところは、必ずこれを利用させることはもちろん、道路を横断する際は、一旦止まって車が来ないか左右を見ること。あるいは車が止まったかを確かめるうえで、横断するよう習慣づける。

☆信号機の見方をよく教え、青信号になっても左右をよく見て、また、すでに青になっただけのときは、次の青信号を待って渡るよう習慣づける。

☆家庭に帰ってから、道路や路切の付近では、決して遊ばせないように聞かせ、時には実際に遊んでいる場所を確認する。

一年生の心とからだ

——いつてきまッす……と元氣よく学校へ行く子どもの後ろ姿に手をふり、見えなくなるとたんに、帰ってくるまで何となく心配な母親。友達と仲よく遊べるかしら。家に帰りたくて先生を困らせているのではないかと。また、友達をいじめたり、けがをしているのではないかと。そこで、新入学を迎え安心して通学できるように親として注意することを考えてみましょう。

母親はにこにこして
送り迎えを

入学したばかりのときは、親も子も相当に緊張しているものです。特に一年生は、心身ともに張り切って新しい生

元市長ご遺族から 50万円の寄附

昭和三十四年五月から昭和三十八年五月までの間、第三代石岡市長として市政に献身された椿智太郎氏(七十二才)は三月二十一日、心臓麻痺のため突然自宅において死去せられ、五月七日日光寺において葬儀が行なわれましたが、このほど、氏のご遺族から、故人の遺言により社会福祉のために役立てていただきたいと、市へ現金五十万円を寄附されました。

市といたしましては、故人のご厚志に対して深甚なる敬意を表し、故人のご意志に従い運用に努めたいと存じます。

活になれようと努力してきます。この心の張りが学校に慣れた頃から「疲れ」となってきました。しかし、子どもは活動的ですから、よほど疲れないと態度に表われない場合が多いです。また、おとなのように疲れの程度に合せて自分の生活を調節することができません。そこで家庭では緊張をとき、心に安らぎを与えるように考える必要があります。

それには、子どもが帰るころには、できるだけ母親は家にいて「お帰りなさい……」とほほえんで迎えてやり、頭でもなでてあげれば子どもはすっかり安心します。帰るなり、学校のことを次々と聞きだしたり、さあ復習だ、と強引に追い込むことは、通学が心の重荷となり学校ざらいのもとになることがありますから、考えねばならないことです。

行動や身体の変化は
担当の先生と相談を

入学後、何となくそわそわしたり、元気がなかったり、爪をかむくせがでたり、ときうそをつくようになるなど行動に変化がでたときには、担任の先生によく相談し、その原因をたしかめ、気持ちの落着かせるくふうをしましょう。また、顔色が悪くなった原因不明の発熱があるなどの身体的な変化に担任の先生にお話するとともに専門医に診ていただき、早いうちに治療することが大切です。

夕飯のたんらんを
たいせつに

学校生活の話を家族で楽しく語りあうようにしたいものです。それには、夕食をかこむときが一番よいでしょう。いちいち母に学校でのことを報告するのをいやがることも、こんなときには、先生や友達のことよく話すもので

にとつては魅力であり、たいせつな栄養源です。消化がよく、楽しく食べられるものを与えるようにしたいものです。特に、給食が始まると、給食を残さないようにと朝食を食べずに登校することも時々みられます。これを続けるとうち盛りからのだに影響がありますから、ごく軽いものでも必ず朝食をとるようにしましょう。

ふだん忙しい父親もなるべくいっしょに夕飯をとりながら、子どもの話に耳を傾けをしてあげるのもよいでしょう。話しにつられて笑ったりうなづいたりする両親のようすで、こどもはすっかり楽しくなり、こまごまと話しますもし、話したがないときは友達関係、遊んだことで話しの糸口をつけてやるとよいと思います。

学校生活の話を家族で楽しく語りあうようにしたいものです。それには、夕食をかこむときが一番よいでしょう。いちいち母に学校でのことを報告するのをいやがることも、こんなときには、先生や友達のことよく話すもので

これは、こどもは気持ちよく安定せず、思わぬ事故をおこすことになり得ます。学校へかける前は、昨夜準備した道具を、こども自身がしらべようとし、これでよいだろうとという安心感をもたせてから、余裕ある態度で送りだすよう心がけましょう。もし学校で忘れものに気がついたときは、担任の先生に必ずこごとわってからとりに帰宅するなど、勝手に学校をぬけたすようなことのないように、よくいいきかせておきましょう

食事はおいしく
栄養のあるものを

入学後、一時的に食欲がなくなり、偏食になったりすることも少なくありません。そうゆう時は、少量で見た目も美しく栄養価の高いものを食べさせるくふうが必要でしょう。また、おやつもこども

学校の教育方針を
よく聞いて参考に

参観日、家庭訪問などの機会には、よく学校の教育方針などを聞き、家庭でも歩調を

や、注意しなくてはいけないことは、簡単にばかり教えるべきです。

学校へいく準備は
寝る前に

朝になってから、やれ鉛筆だ、クレパスだとさわぐこどもに母親がガミガミいながら準備を手つたい、時間ぎりぎりにあわてて家をとびださせる。

4月の納税
全期 軽自動車税
1期 国民健康保険税
納期は4月30日限りです

電電シリーズ (1)

毎度電報電話のご利用をいただきましてありがとうございます。

電話局では、皆さま方によりよいサービスを提供できますよう日ごろ努力しておりますが、間違っかかる電話が石岡局の場合、日に約1,800回位あります。

このことは、機械の働らきを十分に活かしたことでありませんから、かかりにくい電話の原因ともなっています。

そこで正しい電話の使い方につきまして、今月号から毎月皆さま方にいろいろお知らせいたしますから、よろしくご協力下さいますようお願い申し上げます。

正しい電話の使い方

・電話番号はよく確かめて……

記憶だけでは間違ふことがあります。かける前には「電話番号簿やメモ」で確かめましょう。

このような例はありませんか。「ちがいますノガチャンノ」まちがい電話は不愉快なものです。

・メモと鉛筆は必ず電話機のそばに……

かけるとき、あるいはかかってきたときの要点はメモしておきましょう。たいへん役にたちます。

・発信音がきこえたらすぐダイヤルを……

受話器をはずして耳にあて発信音がきこえたらすぐダイヤルをはじめてください。ダイヤル途中で5秒以上の間隔をおきますと、話中音がでてつながりませんから最後まで続けて回しましょう。

ダイヤル市外通話のときはダイヤルを終わっても10秒～15秒位なんの音もでない場合がありますが、これは故障ではありませんから、そのままお待ちになれば呼出音ができます。

積立分譲住宅 入居者募集

5月6日～15日

市建設部では、五月六日から十五日までの期間、積立分譲住宅の入居者を次の要領で募集いたします。

この分譲住宅は、県住宅供給公社がみなさんに持家の夢を実現していただくため、住宅金融公庫の融資を受けて建設する土地付分譲住宅ですが、昨年からの普通型分譲住宅とちがって、入居者が頭金を一定の期間分割して定期に積立て、その積立完了後に住宅の引渡し

を受けて建設する土地付分譲住宅ですが、昨年からの普通型分譲住宅とちがって、入居者が頭金を一定の期間分割して定期に積立て、その積立完了後に住宅の引渡し

を受け、残代金(住宅金融公庫融資額)を低利で長期間に元利均等割賦償還するものです。したがって、名称も積立分譲住宅となり、頭金の積立をしなければ入居できません。この住宅は、東大橋字仁平谷津地内(東大橋移転就職者用宿舎側)に三十八戸が建設され、規模・構造は、木造厚型スレート葺一戸建平家、建物面積約五十八平方メートルA型は八畳・六畳・六畳・厨房兼食堂・浴室・その他、B型は八畳・六畳・四畳半・厨

型は八畳・六畳・四畳半・厨房兼食堂・浴室・その他となっております。分譲予定額は約二百二十万円(融資額百七万円)となっております。完成は、明年三月頃の予定ですが、入居希望者はこの期間中に申し込みしなければなりませんから、特にご注意ください。

募集要領

◇申込者の資格

①日本国籍を有し、自ら居住するため住宅を必要とする。

◇申込方法

申込書に希望される住宅を二戸指示して受付期間内に市役所建設部に提出してください。申込用紙は、市役所建設部に用意してあります。なおご希望の住宅の申込者が二人以上あるときは公開抽せんによって決定します。

人事明暗

二月届出

出生 三二人
死亡 一四人

▽出生

幸	中	市	士	若	国	大	吉	安	泉	金	守	富	富	具	兵	小	出	高	高
隆	周	孝	七	小	大	大	吉	安	泉	金	守	富	富	具	兵	小	出	高	高
子	造	夫	郎	松	和	和	田	達	安	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	二	二	崎	田	田	田	正	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	貞	田	田	田	男	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	女	達	丸	田	田	田	田	田	田	田	田	田
子	子	女	女	夫	田	田	田	長											